

調査事項	環境影響要因		土地又は工作物の存在及び供用		工事の実施		選定理由又は除外理由
	環境影響調査項目		新たな管理型最終処分場	エコサイクルセンター	新たな管理型最終処分場	エコサイクルセンター	
大気環境	大気質	粉じん	○	○	◎	○	エコサイクルセンターと同様、廃掃法で定められた項目を選定。 また、工事の影響について、建設予定地の近隣集落への影響を考慮するとともに、エコサイクルセンターと比して延長が長くなる進入道路・工用道路に係る工事の影響も考慮して選定。
		浮遊粒子状物質 (SPM)	○	○	◎	-	
		二酸化窒素 (NO2)	○	○	◎	-	
	騒音振動	騒音レベル	○	○	◎	○	
		振動レベル	○	○	◎	○	
悪臭	特定悪臭物質濃度 または臭気指数 (臭気濃度)	○	○	-	-	エコサイクルセンターと同様、廃掃法で定められた項目を選定。	
水環境	表流水	生物化学的酸素要求量 (BOD)	○	○	-	-	エコサイクルセンターと同様、廃掃法で定められた項目を選定。 また、工事の影響について、建設予定地の近隣集落への影響を考慮するとともに、エコサイクルセンターと比して延長が長くなる進入道路・工用道路に係る工事の影響も考慮して選定。
		全りん (T-P) 全窒素 (T-N)	○	○	-	-	
		浮遊物質 (SS)	○	○	◎	○	
		化学的酸素要求量 (COD)	○	○	-	-	
		ダイオキシン類	○	○	-	-	
		その他必要な項目 (健康項目 他)	○	○	-	-	
	地下水	水質 (上記項目と同じ) 地下水の流れ	○	○	○	-	
土壌	地質形	重要な地形及び地質	-	-	-	-	建設予定地周辺は改変された採石場跡地が大半であるため除外。
	土壌	ダイオキシン類	○	○	-	-	供用開始後に測定が必要となった場合の比較対照となる値を施設整備前に確認しておくために実施。
陸域動物	重要な種及び注目すべき生息地	○	○	◎	○	エコサイクルセンターと同様、アセス法等で定められた項目を選定。 また、工事の影響について、エコサイクルセンターと比して延長が長くなる進入道路・工用道路に係る工事の影響も考慮して選定。	
陸域植物	重要な種及び群落	○	○	◎	○		
生態系	地域を特徴づける生態系	○	○	◎	○		
景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	○	○	-	-	エコサイクルセンターと同様、アセス法等で定められた項目を選定。	
人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	-	-	-	-	人と自然との触れ合いによる自然環境の恵沢の享受 (例：花見、ハイキング等) に関する項目。建設予定地の大部分は鉱山保安法の適用区域であり、地域住民が立ち入ることはないと考えられるため除外。	
廃棄物等	建設工事に伴う副産物	-	-	-	-	建設予定地周辺は鉱山区域及び山林が主であり、既存建物の取り壊しも無いため、発生する建設副産物 (廃棄物) の不確実性は小さい。また、事業特性から多量の建設副産物 (廃棄物) が発生するとは考えられないことから除外。	
温室効果ガス等	メタン	-	-	-	-	現施設のエコサイクルセンターの受入実績においても、有機物等、腐敗性の品目を受け入れていないため除外。	
	二酸化炭素	-	-	-	-		
放射線の量	放射線の量	○	-	-	-	現施設のエコサイクルセンターにおいて実施中の環境モニタリング項目の一つ。 地域住民の安心を得るため、引き続き、新たな施設においても、モニタリングを実施していくことを検討しており、比較対照となる値を施設整備前に確認しておくために実施。	

○ : 廃棄物処理法に基づく調査項目 (必須)

◎ : アセス法、アセス条例に基づく左記以外の調査項目 (任意)

◎ : 進入道路等についても調査・評価を実施

※本施設は環境影響評価法・同条例に定める面積要件 (15ha以上) を満たさず、同法・同条例に規定される調査は必須ではないが、施設の重要性に鑑み、前回 (エコサイクルセンター) と同様に任意の環境影響評価を実施する。